

策を講じたい。

※ 十三年度町老人保健医療  
特別会計補正予算（第二号）

問 老人保健の今後の対策は。  
答 元気老人をいかにつくっ

## 建設経済常任委員会

※ 十三年度町一般会計補正  
予算（第七号）の関係分

問 生産調整推進事業費につ  
いては。

答 これから集団転作をどう  
展開していくかと言うことで  
の話し合い活動や研修事業に  
たいしての県補助、宮之城町  
と入来町がモデル地区として  
対象。町負担はない。

問 水田農業生産条件整備事  
業とは

答 大豆の選別機一台の購入  
で、事業主体はJAさつま、  
事業費は一〇二万九千円で補  
助金三九万二千元、補助残に

ていくか、自分の健康に対す  
る意識改革も大事である。

ついでにはJA負担。

問 畜産業費の中の需用費二  
十三万円については。

答 学校給食用として、さつ  
ま牛の肉代で小・中学校を対  
象、年明けに実施予定で子ど  
うたちに趣旨を理解してもら  
うような手だても講じていき  
たい。

問 家畜市場牛舎建築助成事  
業補助八十三万七千円につ  
いての事業内容は。

答 子牛の生産農家の高齢化  
等に伴い、子牛の引き出しか  
ら繋留所までの距離をレール  
化し、労力軽減や事故防止を

図る。事業主体は「郡畜連」  
で、事業費は三、八七五万六  
千円で、国庫補助金一、七五〇  
万円、郡畜連負担金一、二〇七  
万円、JA負担金四五九万円  
で、残りを一市七町で負担す  
る。各市町の負担割合は平等  
割十万円と過去三年間の出場  
頭数割で算出している。

問 牛海綿状脳症緊急対策事  
業補助七十七万一千円の事業  
費内容は。

答 十一月二十五日、町畜産  
振興会主催による「牛肉消費  
拡大推進決起大会」への補助  
金一〇〇万円や十二月二十二  
日開催される「二〇〇一モー  
モーフェスタ川薩」に、一市  
七町が一律三十万円の運営補  
助をする。他に郡畜連・JA  
・共済組合・肉振興協議会等  
も負担し、牛肉消費拡大・講  
演会・消費者とのふれあいな  
どが行われる。

問 活動火山周辺地域防災營  
農対策事業費については。

答 飼料の刈り取り、反転、  
包装、梱包、堆肥散布用の機

械五台の整備。事業主体は「終  
野自給飼料生産組合（四戸）」、  
受益面積六・一haである。事  
業費は三四二万円で、うち県  
補助金二五六万五千円、町十  
万二千円。計二二六万七千円  
の補助となつていて。

問 道路新設改良費の公有財  
産購入費五、四五一万二千円  
については。

答 町道「医師会病院線」の  
延長二四六m、幅員七mの用  
地を購入する。平成五年に土  
地開発基金で取得済みであり、  
今回行政財産として購入する。

問 緊急地域雇用創出特別基  
金事業の委託料五一〇万円に  
ついては。

答 公共利用施設等環境改善  
業務を委託するのが主で、全  
額県補助、委託先はシルバー  
人材センターで、約六八〇人  
〜七〇〇人の雇用が見込まれ、  
主に児童遊園地、運動公園等  
の樹木の剪定、竹林の間伐作  
業等を予定している。

※ 十三年度町水道事業会計  
補正予算（第二号）

問 今回の補正の主なものは。

答 今回の補正は、上水道川  
原線配水管改良工事として、  
小牧酒造前から宮之城食販ま  
での既設管一五〇mの五〇mm  
管を一〇〇mm管に、また、既  
設管八三mの二五mm管を七五  
mm管に改良するため、工事費  
三六〇万円を補正する。